

Business Gallery

第393回

e-cubeホームテクノ (株)

—— 新オフィス稼働でさらなる飛躍を！



代表取締役 榎本 広行 社長

今回紹介するe-cubeホームテクノ (株) は、川越市内に本拠を置く、建材の販売・取り付け施工業者。介護事業を展開する会社とグループを組み、川越市内を中心に地域の生活者を大切にすることを信条としている。

当社は、1999年 (平成11年) 4月の設立。サッシにガラス、システムキッチンやユニットバスといった住設機器、インテリア製品やエクステリア関係など、多様な住宅資材、建材を販売し、多くの技術者を擁して取り付け施工も行う。戸建て住宅を中心とした新築工事に加え、近年はリフォーム工事も多く手がけ、建材大手LIXILのFC「マドリエ」に加盟し安定した業容を維持している。代表の榎本社長は、さらなる飛躍を求めてかねてより事業所拡充を計画していたが、このほどそれが実現。今年2月より稼働を開始した。

「地元貢献を大切にしていましたから、同じ川越市内でももう少し中心部にオフィスを置きたかったんです」(社長)。それまで市内の小中居にあった本店を登記はそのままレジスティックセンターに。同市旭町内にセールスオフィスを構えて事実上の本社機能を移した。「ここは、私どもと取引のある金融機関の店舗跡地。グループ会社で介護事業を手がける「e-cube care (株)」も近くにあり、同社の一部機能もこちらに持ってきました。金融機関のATMはそのまま置いています」(社長)。いろんな意味で地域に親しまれる新スポットとなった感じだ。

地元貢献とともに経営上大切にしているのが人材の育成。人手不足が深刻なのはこの業界でも同じこと。とりわけ、施工業者として技術者の育成

と定着はある意味生命線といえる。「私どもは施工担当者を職人とはいわず、“テクノロジスト”と呼ぶようにしています」(社長)。当社で使うこの呼称は、技術と配送を組み合わせた意味合いが強い。品質向上という技術面での取り組みはもちろん、マナー教育といった内面 (人間性) の充実にも心を配る。「ようやく育ってきた」と社長は手応えを感じているようで、信頼できる自社施工部隊を確保できていることが、他のFCや同業他社との最たる差別化につながっているという。

2年ほど前には、埼玉県SDGsパートナーに登録した。「当時、地元の中小企業としては珍しかった」(社長)。このほか、JICA (国際協力機構) が発行する社会貢献債に投資。従業員に対しては、DC (確定拠出年金) を導入している。「これも中小では珍しいのでは？」(社長)。社員の喜びと地域社会への発展。まさに持続可能な企業を目指し、今日も榎本社長はさまざまな活動に積極的だ。

企業概要

e-cubeホームテクノ (株)

企業コード：968000237

法人番号：4030001058758

所在地：川越市旭町3-2-15

代表者：榎本 広行氏

設立：1999年 (平成11年) 4月

年売上高：約12億6700万円 (2023年3月期)

URL：https://www.e-cube-group.com/